

MOUSA₂

ムーサ

令和6年度

高等学校用教科書 音楽Ⅱ

27教芸 (令和6教 内容解説資料)

この資料は、一般社団法人教科書協会の定める「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。



目次	MOUSA2の特徴……………3	MOUSA2掲載曲……………9
	MOUSA1の流れを引き継いで……4	二次元コードコンテンツの充実……10
	MOUSA2の新たな企画……………6	年間指導計画例……………12
	デジタル・コンテンツの 活用につなげる……………8	指導書について……………14
		検討の観点別に見た特色……………15

MOUSA は、
ムーサ

「卒業後も手元に残しておきたい教科書」であることを
刊行以来のコンセプトにしています。

令和5年度から使用される新しいMOUSA2では、
MOUSA1の流れを継承しつつ、音楽をより深く学べるようにしました。



MOUSA2の

特徴
1

扱いやすい教材

MOUSA1に引き続き、生徒に日々接している先生方の実践的なアイデアを具現化しました。歌唱・器楽教材については著者と編集部が試演を重ね、創作教材では具体例を挙げて手順を丁寧に示しています。生徒どうしの会話による楽曲分析を提案する「大解剖」シリーズでは、《からたちの花》を取り上げました(→本書P.4)。

MOUSA2の

特徴
2

音楽の学びをより深める

さまざまなジャンルから、教材として音楽の学びをより深めることのできる曲を厳選して掲載しました。「ジャンル別MAP」を示すことにより、生徒が幅広く音楽と関わることができるよう配慮しています。また、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化に関連付けた内容として、ミュージカルや映画音楽も取り上げました(→本書P.6)。

ジャンル別MAP【歌唱・器楽編】

歌曲 Alleluja ▶P.10 誰かがいさなベルをおす ▶P.24 浜辺の歌 ▶P.25 からたちの花 ▶P.26 Funiculi-Funicula ▶P.37 Nel cor più non mi sento ▶P.38 Vaga luna, che inargenti ▶P.40 Quando me n'vo, soletta per la via ▶P.42 Je te veux ▶P.44 Sehnsucht nach dem Frühlinge ▶P.47 Der Lindenbaum ▶P.48 Der Vogelfänger bin ich ja ▶P.50	ソルフェージュ ▶P.20 ポピュラー・ソング SUN ▶P.12 歩いて帰ろう ▶P.13 One more time, One more chance ▶P.14 糸 ▶P.16 ハナミズキ ▶P.18 天体観測 ▶P.18 The Phantom of the Opera ▶P.66 All I Ask of You ▶P.67 涙そうそう ▶P.74 Tears In Heaven ▶P.84 Can't Take My Eyes Off Of You ▶P.86 We've Only Just Begun ▶P.87 上を向いて歩こう ▶P.88	合唱曲 糸 ▶P.16 ハナミズキ ▶P.18 Funiculi-Funicula ▶P.37 夏は来ぬ ▶P.51 赤とんぼ ▶P.90 タケれ ▶P.92 明日の木 ▶P.95	和楽器 三線 涙そうそう ▶P.74 安里屋コタ ▶P.76 篠笛 おぼろ ▶P.77 琴 (一般) ▶P.79	ウクレレ Kaimana Hila ▶P.30 Happy Birthday to You ▶P.31 Crazy G ▶P.31	ギター 天体観測 ▶P.32 愛のロマンス ▶P.83 Tears In Heaven ▶P.84	世界の諸民族の音楽 Kaimana Hila ▶P.30 ランガバルシータ ▶P.82	アンサンブル Prelude III ▶P.23 シンコペーテッド・クロック ▶P.56	長唄 《結後獅子》 ▶P.72	心の歌 夏は来ぬ ▶P.51 赤とんぼ ▶P.90	リコーダー 夏は来ぬ ▶P.52 冬 ▶P.53 ソナチネ ▶P.54 ランガバルシータ ▶P.82
---	---	--	--	---	---	--	---	---------------------------	--	---

【資料編】

口絵 Invitation to Music! ▶P.2 文案 ▶P.4 歌舞伎 ▶P.5 ライブで楽しもう! ▶P.6	歌唱 ヴォイス・トレーニング ▶P.10 (Alleluja)を歌う際 ▶P.11 詩の心を大切に歌おう ▶P.17 日本語の歌の歌い方 ▶P.17 からたちの花 大解剖! ▶P.28 イタリア語の歌を歌おう ▶P.36 フランス語の歌を歌おう ▶P.43 ドイツ語の歌を歌おう ▶P.46 長唄に親しもう ▶P.72
器楽 ウクレレ ▶P.30 Let's Play the GUITAR 1 ▶P.33 リコーダーの演奏 ▶P.52 リコーダー(アーティキュレーション) ▶P.53 三線 ▶P.75 篠笛 ▶P.77 琴 ▶P.78 Let's Play the GUITAR 2 ▶P.83 Let's Play the GUITAR 3 ▶P.85 キター/キーボードコード表 ▶P.116	歴史 日本の「うた」の作曲家たち ▶P.24 日本音楽の流れ ▶P.68 琵琶について ▶P.70 郷土の民謡 ~島唄編▶P.73 「横ばい」ってなに? ▶P.78 西洋音楽の流れ ▶P.110 作曲家の年表と主な作品 ▶P.118
楽典 楽典 ▶P.112 西洋音楽の用語と記号 ▶P.115	その他 ルールを守って音楽を楽しもう! ▶P.15 変奏曲 ▶P.39 フランス語に由来する言葉 ▶P.43 サティとモンマルトル ▶P.45 音楽を聞けなすさまざまな要素 ▶P.98

(教科書P.8・9 ジャンル別MAP)

MOUSA2の

特徴
3

多角的な視点

表現と鑑賞の一体化を図った教材(→本書P.6・7)を取り上げるなど、多角的な視点から一つの作品にアプローチできるよう工夫している他、〔共通事項〕を手がかりに学習を進めることのできる教材(→本書P.5)を通して、「主体的・対話的で深い学び」の本質に触れることができます。

MOUSA2の

特徴
4

二次元コードコンテンツの充実

二次元コードコンテンツを用いて、視聴したり調べたりする学習活動を充実させました。表現教材では、朗読やリズム読みによる原語歌詞の発音を、器楽教材では、楽器の仕組みや奏法などを、紙面のみでなく、音声や動画などでも確認することができます(→本書P.10・11)。

▽ 発声の基本と実践

基本的な発声を身に付けるために最適な教材《Alleluja》を扱ったこのページは、1年を通して活用することができます。



10
Alleluja
11

ヴォルフガングアマデウス・モーツァルト 作曲 / 清原三編曲

VOICE TRAINING

ヴォイス・トレーニング

◎安定した呼吸を続けるには、肋骨の開きを維持することが大切。

上半身が硬いと肋骨が開きにくくなるので、あらかじめ、胸を広げながら息を吸う。後ろで手を組んで胸を反らせる。体を左右にひねるなどのストレッチを行っておくよ。

肋骨を広げながら吸った息を、コントロールしながら吐き出して歌うためには、広げた肋骨を閉じないように保つことが大切である。息が残り少なくなると体に力が入ってしまい、肋骨が閉じて肩が内側に入るため背中が丸くなりがちなので、気を付けよう。

◎安定した呼吸を続けるためのEXERCISE

①【吸う】 心の中で1〜5まで数えながら、喉の奥に涼しい息を送り込むように鼻から息を吸う(喉の奥が開いた状態になる)。

②【止める】 吸った息を止め、1〜5まで数える(喉の奥を開いたまま維持する)。

③【吐く】 1〜5まで数えながら吸ったときと同じ速さで口から息を吐く。

①〜③の動作を、数える数を1つずつ増やしながら繰り返す。

◎声をよく響かせるためには、喉の奥が開いていることが大切。

私たちの体には、音が響く空間(咽頭、口腔、鼻腔など)がある。声帯が振動して発生した音を、それらの空間でバランスよく共鳴させることで、よく響くことになる。喉の奥に涼しい息を送り込むように鼻から息を吸い、あくびをするようなつもりで口を開ける。この状態を保って歌う練習をしよう。

◎高音域を無理なく発声するためには、音高を滑らかに上下させて歌う練習が効果的。

肩や首などが力が入っていると、楽に声を出すことができない。緊張を解くためには、リップロール、ハミング、任意の母音などで音高を滑らかに上下させて歌う練習をしよう。その際、音程を少しずつ広げよう。

※リップロール：唇を合わせた状態で息を吐き、唇をプルプルと振動させること。リップトリルという。

VOICE TRAINING

ヴォイス・トレーニング

◎安定した呼吸を続けるには、肋骨の開きを維持することが大切。

上半身が硬いと肋骨が開きにくくなるので、あらかじめ、胸を広げながら息を吸う。後ろで手を組んで胸を反らせる。体を左右にひねるなどのストレッチを行っておくよ。

肋骨を広げながら吸った息を、コントロールしながら吐き出して歌うためには、広げた肋骨を閉じないように保つことが大切である。息が残り少なくなると体に力が入ってしまい、肋骨が閉じて肩が内側に入るため背中が丸くなりがちなので、気を付けよう。

◎安定した呼吸を続けるためのEXERCISE

①【吸う】 心の中で1〜5まで数えながら、喉の奥に涼しい息を送り込むように鼻から息を吸う(喉の奥が開いた状態になる)。

②【止める】 吸った息を止め、1〜5まで数える(喉の奥を開いたまま維持する)。

③【吐く】 1〜5まで数えながら吸ったときと同じ速さで口から息を吐く。

①〜③の動作を、数える数を1つずつ増やしながら繰り返す。

◎声をよく響かせるためには、喉の奥が開いていることが大切。

私たちの体には、音が響く空間(咽頭、口腔、鼻腔など)がある。声帯が振動して発生した音を、それらの空間でバランスよく共鳴させることで、よく響くことになる。喉の奥に涼しい息を送り込むように鼻から息を吸い、あくびをするようなつもりで口を開ける。この状態を保って歌う練習をしよう。

◎高音域を無理なく発声するためには、音高を滑らかに上下させて歌う練習が効果的。

肩や首などが力が入っていると、楽に声を出すことができない。緊張を解くためには、リップロール、ハミング、任意の母音などで音高を滑らかに上下させて歌う練習をしよう。その際、音程を少しずつ広げよう。

※リップロール：唇を合わせた状態で息を吐き、唇をプルプルと振動させること。リップトリルという。

(教科書P.10-11)

「ヴォイス・トレーニング」は、《Alleluja》だけでなく、他の歌唱教材にも生かすことができます。

音楽を形づくっている要素について分かりやすく解説

▽ [共通事項]を手がかりに学習を進めることのできる教材

「音楽を織りなすさまざまな要素」を参考に、音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを主体的に捉えることができます。

音楽を織りなすさまざまな要素

音楽は、さまざまな要素が関わり合っている。これらの要素の働きを理解し、表現や鑑賞の学習に生かそう。

音色

音質や音の高低にかかわらず特徴的な音として認識できるものなど

声：女声 / 男声
曲種に応じた声(オペラの声 / 日本の民謡の声)

楽器：いろいろな楽器の音色
奏法による音色の違い(楽器の種類やワウ / ヴェルブの揺らめき) / ヴァイオリンを弓で弾く音と指で弾く音(ピッチカートの音)

身の回りの音：自然音や環境音

テクスチャ

和音や和声、音や旋律の重なり方など

モノフォニー：単旋律
ポリフォニー：複数の独立した旋律の組み合わせ (夏は涼しめ)

ホモフォニー：主旋律と和声的な伴奏の組み合わせ (Schnitz nach dem Frühling)

日本の伝統音楽の音や旋律の重なり

リズム

拍や拍子、曲を特徴付けているリズムなど

拍：音楽の流れの中で等間隔で刻まれる時間の単位
拍子：拍のまとまりにみられる周期性
拍子：3連符 スウィング

いろいろなリズム：
3連符 スウィング

シンクベーション (上を聞いて多こう)

世界の諸民族の音楽や日本の伝統音楽のリズム：

強弱

音量の設定、強弱の変化や対比など

一定の強弱を示す記号：pp - p - mp - mf - f - ff
強弱の変化を示す用語：dim., decres., cresc.

形式

楽曲形式、形式にとられないスタイルなど

通常、8小節のまとまりを「大楽節」といい、「続く感じ」の前半4小節と「終わる感じ」の後半4小節に分けることができる。この4小節のまとまりを「小楽節」と呼ぶ。説明の際、大楽節にはA.B.C、小楽節にはa.b.cを用いることが

(教科書P.98-99)

音楽の要素に着目して、2つの曲を聴き比べよう

イタリアの作曲家ヴィヴァルディ(1678~1741)が作曲した(冬)(1725年頃出版)と、アルゼンチンの作曲家ピアソラ(1921~1992)が作曲した(ブエノスアイレスの冬)(1969年発表)は、どちらもタイトルに「冬」が用いられている。作られた時代や地域の異なる2曲が、それぞれ「冬」をどのように表現しているのか聴き比べよう。

《和声と創意の試み》第1集(四季)から《冬》

アントニオヴィヴァルディ 作曲

(四季)は、独奏ヴァイオリンと弦楽合奏、通奏低音のための協奏曲(〜P.110)である。(春)(夏)(秋)(冬)の4曲からなり、それぞれ冬一巻を基本とする3つの楽章で構成されている。各曲には作者不明のソネット*が添えられており、標題音楽(〜P.111)の発展的作品であるといわれている。

※ソネット：13世紀頃からイタリアで作られるようになった14行からなる定型詩。

- 第1楽章：独奏ヴァイオリンによる急速な旋律。
- 第2楽章：リズムカナルな音型の反復。この音型が反復される。
- 第3楽章：ピッツィカートなどの伴奏にのせて演奏される旋律。

鑑賞のポイント

音楽の要素に着目して鑑賞し、共通点を探し合おう。

(四季)の演奏：エウロバ・ガランテ 独奏ヴァイオリン / ファビオ・ビゼンディ

ヴィヴァルディは、ヴァイオリン奏者の父親から音楽の手ほどきを受けた。1703年からヴェネツィアのピエタ教育院でヴァイオリン教師を務める。作曲家、指揮者としても活躍した。彼は、この教育院の演奏会のために数多くの作品を残している。500曲以上ある協奏曲では、(冬)のようにヴァイオリンを独奏楽器とする作品が多い。

デジタル・コンテンツの活用につなげる

コンピュータの発展とともに、音楽をコンピュータで制作する「DTM(デスク・トップ・ミュージック)」が進化し、近年ではDAW(Digital Audio Workstation)ソフトによる音楽制作が主流となっています。MOUSA2では、その基本的な制作手法の例を紙面に再現し、デジタル・コンテンツを活用した創作につながるよう試みました。



(参考)DAWソフトによる音楽制作の画面

創作

創作の手順を丁寧に示しています。

創作4では、ダンス・ミュージックの一つである「EDM(Electronic Dance Music)」を取り上げました。4つ打ちを基本としたリズム・パターンや短いフレーズの反復、循環コードなど、創作のヒントがあふれています。

60
61

創作4 EDM(エレクトロニック・ダンス・ミュージック)をつくらう

EDM(Electronic Dance Music)は、シンセサイザーなどの電子音を用いたダンス・ミュージックの一つである。明確な定義はないが特徴として、1小節に4分音符を4つ打つバス・ドラムのリズムの他、短いフレーズを繰り返し用いたり、既存の曲や音源の一部を流用して再構築したりする手法などが挙げられる。これらの特徴をもとにEDM風の曲をつくらう。

- EDMを聴いてみよう。
EDMは、リズム、メロディー、ベース、ハーモニーで構成されていることが多い。まずは、下に挙げた参考曲などを聴き、音色、リズム、テンポなど、音楽のさまざまな要素の働きを理解して、創作のイメージを膨らませよう。
参考曲 アヴィーチー(Levels) / MONDO GROSSO(Slow it down) / マデオン(Icarus) / マシュメロ(Alone)
- リズム・パターンを選ぼう。
下の例1~例3は、EDMでよく使われるバス・ドラム(BD)、スネア・ドラム(SD)、ハイハット・シン/UL(HH)のリズム・パターンである。それぞれ演奏を聴いて、好きなものを1つ選ぼう。また、選んだリズム・パターンにはどのようなメロディーが合うのか想像しよう。
例1 J=126~132クラ
例2 J=126~132クラ
例3 J=126~132クラ
← クローズド演奏 ○ オープン演奏
- 8小節のメロディーをつくらう。
手順1 八音階の音階の中から「ド・レ・ミ・ソ・ラ」の5音のみを用いて、まずは2小節のメロディーをつくらう。その後、キーボードなどで音を確認しながらつくるとよい。
手順2 つくった2小節のメロディーの音型やリズムを反復、変化させて8小節のメロディーをつくらう。その際、曲を繰り返し演奏できるように終わり方も工夫しよう。
例 ソをドに実装 1~2小節を反復させる 後半に高音を用いて高揚感を出す 下行させて少し落ち着いた感じにする
- コード進行を選ぼう。
下の「コード進行のパターン例(ハ長調の場合)」を参考に、キーボードなどで音を確認しながらコード進行を選ぼう。
コード進行のパターン例(ハ長調の場合)
・Am-F-G-C F-G-Am-C
・Am-F-C-G F-G-Em-Am
・C-G-Am-F
ヒント 先にコード進行を決めてからメロディーをつくる方法もある。①と②で試行錯誤を重ねながら進めるとよい。
- Am-F-G-Cのコード進行を選択
1小節に1つのコードを用いる 1~4小節のパターンを反復させる

- ベースとハーモニーを付けよう。
コードのルートを用いてベースを付けよう。また、響きのバランスや構成音の配置を考えてハーモニーを付けよう。
例 メロディーとベースとの響きのバランスを考えながら、演奏しやすい配置にする
XOディ ハーモ ベース リズム
共通音
コードのルートを用いて響きを安定させ、リズムは4分音符を中心に、8分音符で変化を付ける
前の1小節を繰り返し演奏
- 作品ができあがったら発表し合い、意見を交換しよう。
④までにつくった8小節のメロディー、ベース、ハーモニーそれぞれの音色を考え、全体を3~4回繰り返し演奏して曲が終わるようにしよう。その際、音がだんだん小さくなって消える形(フェードアウト)にするとうい。発表する際は、工夫した点などをプレゼンテーションし、互いの作品について意見を交換しよう。
ヒント コンピュータを活用してもよい。
● 試奏しながら修正を加え、よりよい作品に仕上げる。

DAWソフトを使ってみよう

ほとんどのEDMはコンピュータのDAW(Digital Audio Workstation)ソフトを使用して作られている。それぞれ仕様は異なるが、基本的な操作の手順は次のとおりである。

- ①パートごとにトラック(音色を分ける部屋)を作る。
- ②パートごとに音色を決める。
- ③拍子、テンポを設定する。
- ④パートごとに音を入力する(「打ち込む」といいう)。

音の入力には、ソフト上の五線譜に音を入力していく方法もあるが、ピアノロールという画面に音を入力していくのが一般的である。また、あらかじめ録音されている音をそのままトラックに貼り付けていく方法もある。DAWソフトが進化したことによって、近年はこれらの手法で作られる楽曲も多い。

(教科書P.60・61)

二次元コードコンテンツの音源を利用して、選んだリズム・パターンを再生しながら、メロディーやコード進行を考えることができます。また、作品例も聴くことができます。



令和5年度 MOUSA2 掲載曲

曲名	作曲
Alleluja	W.A. モーツァルト
SUN	星野 源
歩いて帰ろう	斉藤和義
One more time, One more chance	山崎将義
糸	中島みゆき
ハナミズキ	マシコタツロウ
ソルフェージュ	
Prelude III	三宅悠太
誰かがちいさなベルをおす	木下牧子
浜辺の歌	成田為三
からたちの花	山田耕作
Kaimana Hila	C.E. キング
Happy Birthday to You	P.S. ヒル, M.J. ヒル
Crazy G	作曲者不詳
天体観測	藤原基央
Funiculi-Funiculà	L. デンツァ
Nel cor più non mi sento(うつろな心)	G. パイジエッロ
Vaga luna, che inargenti(優雅な月よ)	V. ベッリーニ
Quando me n' vo, soletta per la via (私が町を歩くと)	G. ブッチーニ
Je te veux(あなたがほしい)	E. サティ
Sehnsucht nach dem Frühlinge(春への憧れ)	W.A. モーツァルト
Der Lindenbaum(菩提樹)	F. シューベルト
Der Vogelfänger bin ich ja(オイラは鳥刺し)	W.A. モーツァルト
夏は来ぬ	小山作之助
夏は来りぬ	作曲者不明
冬	A. ヴィヴァルディ
ソナチネ	W.A. モーツァルト
シンコペーテッド・クロック	L. アンダソン
The Phantom of the Opera	A. ロイド＝ウェバー
All I Ask of You	A. ロイド＝ウェバー
長唄《越後獅子》から	九世杵屋六左衛門
涙そうそう	BEGIN
安里屋ユンタ	宮良長包
おばば	岐阜県民謡
〈一段〉《三段の調》から	久本玄智
ラ・クンパルシータ	G.M. ロドリゲス
愛のロマンス	スペイン民謡
Tears In Heaven	E. クラプトン, W. ジェニングス
Can't Take My Eyes Off Of You (君の瞳に恋してる)	B. クルー, B. ゴーディオ
We've Only Just Begun(愛のプレリュード)	P. ウィリアムズ, R. ニコルズ
上を向いて歩こう	中村八大
赤とんぼ	山田耕作
夕ぐれ	佐井孝彰
明日の木	三宅悠太

歌唱・器楽

タイトル赤字は新規掲載もしくは企画を変更したものの

曲名	作曲
映画『ハリー・ポッターと賢者の石』	J. ウィリアムズ
ミュージカル《オペラ座の怪人》	A. ロイド＝ウェバー
日本の伝統音楽	
琵琶楽 薩摩琵琶《川中島》	初世吉水錦翁
文案《冥途の飛脚》から《封印切の段》	近松門左衛門
歌舞伎《京鹿子娘道成寺》	初世杵屋弥三郎 (初世杵屋作十郎 補曲)
スナム(僧舞)(韓国)	
コーン(タイ)	
バリ島のケチャ(インドネシア)	
世界の諸民族の音楽	
パラタナーティヤム(インド)	
セマー(旋回舞踊)(トルコ)	
チャールダーシュ(ハンガリー)	
フラメンコ(スペイン)	
マサイ族の踊り(ケニア, タンザニア)	
アルゼンチン・タンゴ(アルゼンチン)	
フラ(ハワイ)	
鑑賞	
《和声と創意の試み》第1集(四季)から〈冬〉	A. ヴィヴァルディ
《ブエノスアイレスの冬》	A. ピアソラ
交響曲第41番 八長調 K.551《ジュピター》から 第4楽章	W.A. モーツァルト
オペラ《リゴレット》から〈女心の歌〉	G. ヴェルディ
オペラ《トゥーランドット》から 〈誰も寝てはならぬ〉	G. ブッチーニ
オペラ《ジグジュピール》《魔笛》K.620から 〈復讐の心は地獄のように胸に燃え〉	W.A. モーツァルト
楽劇《トリスタンとイゾルデ》から 愛の死〈優しくかすかな彼のほほえみ〉	R. ヴァーグナー
演奏会用狂詩曲《ツィガーヌ》	M. ラヴェル
連作歌曲集《冬の旅》D911	F. シューベルト
《ハンガリアン・ロック》	G. リゲティ
弦楽六重奏のための《180 beats per minute》	J. ヴイトマン
ピアノ・ソナタ第14番 嬰八短調 op.27-2 《月光》から第1楽章	L.v. ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73《皇帝》から 第1楽章	L.v. ベートーヴェン
交響曲第7番 イ長調 op.92から第1楽章	L.v. ベートーヴェン
弦楽四重奏曲第14番 嬰八短調 op.131から 第1楽章	L.v. ベートーヴェン

●平成30年度版から削除した曲

【歌唱・器楽】東京 VICTORY / 椰子の実 / 楓 / Prelude I / Nessun dorma! / Après un rêve / Sherry / アンパンマンのマーチ / E-TEN-RAKU / 情景(バレエ音楽《白鳥の湖》から) / ソナタ(コートヴィル) / 愛のテーマ(映画『ニュー・シネマ・パラダイス』から) / Die Lotosblume / 夢やふれて(ミュージカル《レ・ミゼラブル》から) / Amazing Grace / ていんさくぬ花 / ビルカ ビルカ / 斎太郎節 / 祭の夢 / フラメンコのバルマ / 人生のメリーゴーランド / 秋のあじさい / はなさくら / 幼き日のアルバム

【鑑賞】あなたのとりこ / シェリーに口づけ / ラ・クンパルシータ / イパネマの娘 / マッシュ・ケ・ナダ / バレエ《白鳥の湖》 / 文案《冥途の飛脚》から《淡路町の段》 / モンゴルの民族舞踊(モンゴル) / パヌアツの民衆の踊り(パヌアツ) / 《ヴァイオリン・ソナタ イ長調》から第4楽章 / オペラ《エジプトのジュリオ・チェザレ》から〈もし私に憐れみを感じてくだらないのなら〉 / オペラ《フィガロの結婚》から〈もう飛ぶまいぞ、この蝶々〉 / オペラ《セビーリヤの理髪師》から〈今の歌声は〉 / 《レクイエム》二短調 / 《ルーマニア民俗舞》 / ドレスラーの行進曲による9つの変奏曲 / 交響曲第6番 へ長調《田園》から第1楽章 / 弦楽四重奏曲第13番 変ロ長調から第5楽章(カヴァティーナ)

二次元コードコンテンツの充実

音声や動画などの充実した二次元コードコンテンツを用いて、実際に視聴しながら確認することにより、知識の習得を確かなものにします。



ウクレレ

MOUSA1に引き続き、MOUSA2でもウクレレを取り上げています。二次元コードコンテンツでは、ウクレレの奏法を動画で確認することができます。

●掲載曲：《Kaimana Hila》(教科書 P.30) / 《Happy Birthday to You》(教科書 P.31) / 《Crazy G》(教科書 P.31)

楽器の奏法などの説明と楽譜を見開きに配置し、学習に取り組みやすい紙面構成になるよう工夫しています。

30 Kaimana Hila

チャールズ・E. キング 作詞・作曲 / 長谷部裕介 編曲・楽譜構成

♩ = 120くらい

8分音符を6拍子 4分音符を示す

前の1小節を繰り返す記号

2分音符を示す

「ストローク奏法で伴奏しよう」

「Kaimana Hila」とは、ハワイのオアフ島にある火山ダイヤモンドヘッドのことである。成功の名所を盛り込んだこの歌を歌いながら、ストローク奏法で伴奏しよう。「ストローク」とは、左手でコードを押さえ、右手の人さし指でリズムを刻む奏法である。4本の弦をできるだけ同時に鳴らすようにして、第4弦から第1弦に向けて順番に手を動かして弾く「ダウン・ストローク」に、第1弦から第4弦に向けて弾く「アップ・ストローク」を加えたリズムで演奏しよう。

使用するコード

チューニング

ダイアグラム

TAB(タブ)譜の読み方

31 Happy Birthday to You

P.S.ヒル、M.J.ヒル 作詞・作曲 / 長谷部裕介 編曲・楽譜構成

♩ = 88-92

「ウクレレソロ」に挑戦しよう

「ウクレレソロ」とは、メロディーとコードを組み合わせて弾くスタイルである。(Happy Birthday to You)をTAB譜を見ながらソロ演奏しよう。

この曲ではメロディーとコードを全て右手の親指の腹で弾く。弾いた後に隣の弦に指を当てて止めるようにすると、メロディーを際立たせることができる。

Crazy G

ストロークのリズム

作曲者不詳 / 長谷部裕介 編曲・楽譜構成

♩ = 120-160

「ジャカソロ」に挑戦しよう

「ジャカソロ」とは、ウクレレソロの演奏スタイルの一つ。コードを押さえてストロークで演奏するときと同様に、右手の人さし指で「ジャカジャカ」と弾くのでこのように呼ばれている。TAB譜どおりに弾くと自然にメロディーが浮かび上がってくる。

ハワイで子どもから大人まで幅広く親しまれている(Crazy G)をジャカソロで演奏しよう。

実際の奏法を動画で確認することができます。

(教科書 P.30-31)

ギター

段階を踏んだストローク奏法の学習をはじめ、アルペジオ奏法など、ギターのいろいろな奏法を実際に動画で確認することができます。

●掲載曲：《天体観測》(教科書 P.32・33) / 《愛のロマンス》(教科書 P.83)

《Tears In Heaven》(教科書 P.84・85)



ギターの奏法を動画で確認

各コードの押さえ方を動画で確認することができます。



和楽器

各学校の実態に応じてさまざまな和楽器を選択できるよう、三線、篠笛、箏の3種類を取り上げました。それぞれの奏法を動画で確認することができます。

箏による(一段)の演奏



和楽器の演奏を動画で鑑賞

外国の歌曲

原語歌詞の朗読とリズム読みの音声を聴くことができます。

- イタリア語の歌曲…掲載曲：《Funiculi-Funiculà》(教科書 P.37)
 《Nel cor più non mi sento(うつろな心)》(教科書 P.38・39)
 《Vaga luna, che inargenti(優雅な月よ)》(教科書 P.40・41)
 《Quando me n'vo, soletta per la via(私が町を歩くと)》(教科書 P.42)
- ドイツ語の歌曲……掲載曲：《Sehnsucht nach dem Frühlinge(春への憧れ)》(教科書 P.47)
 《Der Lindenbaum(菩提樹)》(教科書 P.48・49)
 《Der Vogelfänger bin ich ja(オイラは鳥刺し)》(教科書 P.50)
- フランス語の歌曲…掲載曲：《Je te veux(あなたがほしい)》(教科書 P.44)



その他の資料

116 ギター／キーボード・コード表

ダイアグラム
 ●押さえる位置 x…押さない弦 ▶ルート | セーハ―左手の人さし指などで2本以上の弦を同時に押さえる
 1…人さし指 2…中指 3…薬指 4…小指 ダイアグラムの下の数字…フレット番号

キーボード
 ●押さえる際ベース音に使う
 ●和音の構成音

	C	C [♯] /D [♭]	D	D [♯] /E [♭]	E	F
□メジャー						
□7セブンス						
□M7メジャーセブンス						
□mマイナー						
□m7マイナーセブンス						
□dim7ディミニッシュセブンス						
□sus4サスフォー						
□J/Oテンション						

コード表
 コード名 | ベース音 | コード
 C | C | C
 C7 | C | C7
 Cmaj7 | C | Cmaj7
 Cm | C | Cm
 Cm7 | C | Cm7
 Cdim7 | C | Cdim7
 Csus4 | C | Csus4
 C9 | C | C9

コード表
 コード名 | ベース音 | コード
 C | C | C
 C7 | C | C7
 Cmaj7 | C | Cmaj7
 Cm | C | Cm
 Cm7 | C | Cm7
 Cdim7 | C | Cdim7
 Csus4 | C | Csus4
 C9 | C | C9

(教科書 P.116・117)

ソルフェージュ

音を聴き取る練習 ピアノの音を聴き取って、[]内に音を書き入れよう。

リズムを聴き取る練習 リズムを聴き取った後、続けてそのリズムを手拍子で打とう。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

(教科書 P.20)

演奏例を再生することで、各自で聴き取り課題を実施することができます。

その他、リップロールやポニー・パーカッションの演奏例も動画で確認することができます。

こちらの二次元コードより、実際の二次元コードコンテンツをご視聴いただけます。



年間指導計画例

月	配当時間	題材名	題材のねらい	学習目標	主な教材
4 5 6 7	3	曲想を感じ取って、曲にふさわしい発声で歌おう	発声練習に適した曲や親しみやすい曲、歌いやすい曲を通して、発声などの技能を身に付けながら、表現を工夫して個性豊かに歌うとともに、主体的・協働的に学習に取り組む意欲を高める	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する	Alleluja 「ヴォイス・トレーニング」 糸 Funiculi-Funiculà
	4	リズムにのってアンサンブルをしよう	ボディーパーカッションやキーボードなどによるアンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう	曲想と音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する	ソルフェージュ(リズム) Prelude III シンコペーテッド・クロック
	4	ポップスの特徴を理解して歌おう	日本や外国のポップスをリズムにのって歌ったり、曲に込められた思いを味わったりしながら、曲想と歌詞との関わりなどを理解し、個性豊かに歌う	曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する	SUN/歩いて帰ろう/One more time, One more chance/ハナミズキ/Can't Take My Eyes Off Of You/We've Only Just Begun 「ルールを守って音楽を楽しもう！」
	4	変奏や編曲に挑戦しよう	身近な曲の旋律をもとに、音楽を形づくっている要素の働きを変えることで、曲のもつ表情や雰囲気を変化させ、個性豊かに変奏や編曲をする	音を連ねたり重ねたりしたときの響きの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めるとともに、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付け、個性豊かに創作表現を創意工夫する	「旋律の雰囲気を変化させよう」 「演奏スタイルを変化させよう」
	4	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	リコーダーの独奏やアンサンブルを通して、曲にふさわしい奏法を身に付けるとともに、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する	曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する	夏は来りぬ 冬 ソナチネ
	4	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	さまざまな楽器が生み出す響きやその特徴が、どのような要素やそれらの働きによってもたらされているのかを探るとともに、音楽のよさや美しさを深く味わう	音楽を形づくっている要素やそれらの働きに注目しながら曲を聴き、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く	「音楽を織りなすさまざまな要素」/(四季)から(冬)/《ブエノスアイレスの冬》/交響曲第41番《ジュピター》から第4楽章/《ツィガース》/《ハンガリアン・ロック》/弦楽六重奏のための(180 beats per minute)/「西洋音楽の流れ」
	3	日本の伝統音楽と郷土の芸能について知ろう	実際に長唄を体験したり、日本の伝統音楽や郷土の芸能を鑑賞したり調べたりしながら、それぞれの特徴に対する理解を深めるとともに、その魅力を味わう	長唄の言葉の特性と発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果と、日本の伝統音楽や郷土の芸能の特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする	歌唱：長唄《越後獅子》から 鑑賞：薩摩琵琶《川中島》/文楽《冥途の飛脚》から《封印切の段》/歌舞伎《京鹿子娘道成寺》 「日本音楽の流れ」/「郷土の芸能～風流踊」
	9 10 11 12	8	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう	さまざまな言語による歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫して個性豊かに独唱する	曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする
2		映画音楽を鑑賞しよう	音楽と映像との結び付きや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら鑑賞し、映画音楽の魅力味わう	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く	「映画を彩る音楽」 「映画音楽を聴こう 映画『ハリ・ポッターと賢者の石』」
4		和楽器に親しみ、表現を工夫して演奏しよう	和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する	曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する	三線：涙そうそう/安里屋コンタ 篠笛：おぼば 箏：一段
6		表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをしよう	各パートの役割を意識するとともに、全体の響きや表現上の効果に留意しながら、表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをする喜びを味わう	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する	夏は来ぬ/上を向いて歩こう 赤とんぼ/夕ぐれ/明日の木
6		構成を工夫した作品やEDM(エレクトロニック・ダンス・ミュージック)をつくらう	構成を工夫した作品づくりや、EDMの特徴を生かした作品づくりを通して、創作表現に必要な技能を身に付けるとともに、個性豊かな音楽作品をつくり出す面白さを体験する	音楽素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めるとともに、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくらう、つくれた旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくらう技能を身に付け、個性豊かに創作表現を創意工夫する	「構成を工夫して作品をつくらう」 「EDM(エレクトロニック・ダンス・ミュージック)をつくらう」
4		ミュージカル・ナンバーを歌おう	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して個性豊かに歌う	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする	歌唱：The Phantom of the Opera All I Ask of You 鑑賞：ミュージカル《オペラ座の怪人》
1 2 3	2	世界の諸民族の音楽を知ろう	世界の諸民族の音楽を、身振りを伴う表現に着目して鑑賞したり演奏したりしながら、その音楽や表現の特徴を理解する	世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに器楽表現を創意工夫したりする	鑑賞：「世界の諸民族の音楽」 器楽：ラ・クンパルシータ
	6	表現を工夫してギターやウクレレを演奏しよう	ギターやウクレレの音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する	曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する	ギター：天体観測/愛のロマンス/Tears In Heaven ウクレレ：Kaimana Hila/Happy Birthday to You/Crazy G
	4	オペラに親しみ、アリアに挑戦しよう	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して個性豊かに歌う	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする	歌唱：Quando me n'vo, soletta per la via Der Vogelfänger bin ich ja 鑑賞：「オペラ・アリアを味わおう」
	2	作曲家の生涯と作品をたどろう	L.v. ベートーヴェンの生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く	「クローズ・アップ・マエストロ」 L.v. ベートーヴェン

主な学習活動	学習指導要領の内容													内容の取扱い									
	A表現						B鑑賞			(共通事項)													
	(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞			音楽を形づくっている要素										
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	音色		リズム	速度	旋律	テンポ	強弱	形式	構成		
・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する	●	●	●	●	●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (2) (4)
・曲にふさわしい音色、奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付ける ・各パートの役割を意識するとともに、全体の響きの特徴を感じ取ったり、理解したりしながら、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける ・曲の特徴を生かした表現ができるよう試行錯誤したり意見を交換したりしながら演奏する							●	●	●	●	●	●											(2) (2) (4) (5) (8)
・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する	●	●	●	●	●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (2) (4) (11)
・旋律に音を加えたり、リズムや拍子、調などの音楽を形づくっている要素の働きを変化させたりして変奏する技能を身に付ける ・旋律に別の旋律を重ねたり、伴奏を付たりして編曲する技能を身に付ける ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに創作表現を工夫する											●	●	●	●									(2) (2) (3) (4) (7)
・曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付ける ・演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに器楽表現を工夫する							●	●	●	●	●	●											(2) (2) (4)
・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって曲を聴く ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う													●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(3) (2) (4) (8)
・長唄の言葉や唄い方の特性と発声との関わりを理解し、曲にふさわしい発声になるよう表現を工夫して唄う ・琵琶、文楽、歌舞伎及び各地に伝わる風流踊を鑑賞したり調べたりしながら、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深める ・音楽表現の共通性や固有性について気付いたことや考えたことを述べ合う	●	●	●	●	●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (3) (2) (4) (6) (8) (9)
・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う	●	●	●	●	●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (3) (2) (4) (8)
・場面の状況や雰囲気、登場人物の心情などが音楽によってどのように表現されているかに留意しながら映画を鑑賞し、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う													●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(3) (2) (4) (8)
・曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付ける ・演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに器楽表現を工夫する							●	●	●	●	●	●											(2) (2) (4) (6) (8) (9)
・一人一人が主体的に歌いながら、他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける ・各パートの役割を意識するとともに、全体の響きや表現上の効果に留意しながら歌う ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する	●	●	●	●	●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (2) (4)
・楽器の音色の特徴を生かして主題をつくり、それを連ねたり重ねたりしながら2つのパートによる作品をつくる ・EDMでよく使われるリズム・パターンに合う旋律をつくったり、コード進行をもとにベースとハーモニーを付けたりする ・反復、変化、対照などの手法を活用して旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律を重ねたりする技能を身に付ける ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに創作表現を工夫する											●	●	●	●									(2) (2) (3) (4) (7) (10)
・ミュージカルを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら、意見を交換したりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する	●	●	●	●	●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (3) (2) (4) (8)
・世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めながら鑑賞する ・それぞれの音楽表現の共通性や固有性について気付いたことや考えたことを述べ合う ・(ラ・クンバルシート)のリズム、旋律などの特徴を理解し、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (3) (2) (4) (8) (9)
・曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付ける ・演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに器楽表現を工夫する							●	●	●	●	●	●											(2) (2) (4)
・オペラを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する ・音楽を形づくっている要素の働きなどを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う	●	●	●	●	●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (3) (2) (4) (8)
・作品を鑑賞したり、作曲家について調べたり、意見を交換したりしながら、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深める ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う													●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(3) (2) (4) (8)

※内容の取扱いの太字は音楽1に示されているもの

検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特色
範囲	<ul style="list-style-type: none"> ●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	<ul style="list-style-type: none"> ●教材は生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歌唱教材においては、生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲が取り上げられている。器楽教材においては、各学校の実態や生徒の習熟度に応じた楽曲が取り上げられている。また、鑑賞教材についても同様の扱いがなされている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●(共通事項)は、学習指導を進めるうえで適切に扱われているか。 ●三つの柱を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着について適切な配慮がなされているか。 ●説明文やイラスト、写真などは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。 ●我が国や郷土の伝統音楽及び音楽文化に対する配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ●表現及び鑑賞に共通する指導内容として(共通事項)に示された「音楽を形づくっている要素」に関する学習が示されており、その考え方の具体的なヒントとなる「音楽を織りなすさまざまな要素」が掲載されている。 ●教材の内容は、三つの柱(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)と相互に関連付けられており、基礎的・基本的な内容を学習することのできる教材や説明が適切に配列されている。 ●「思考力、判断力、表現力等」の育成を図ることができるよう、思考した内容を記述する例や生徒どうしの会話から曲の分析を行う教材などが掲載されている。 ●説明文は平易な文章で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラスト、写真の取り上げ方もアイデアにあふれ、音楽的感性を育成しながら知的理解を深められるよう配慮されている。 ●生徒が自ら主体的に学習活動を進められるように、各教材に学習内容や活動のポイントが明確に示されている。 ●創作の活動においては、生徒の能力に応じて弾力的に進められるよう配慮されている。 ●鑑賞の活動においては、日本独自の文化の中で育まれてきた音楽の特徴を感じ取ることができるよう配慮されている。器楽の活動においては、各学校の実態に応じて取り組めるよう3種類の和楽器が取り上げられている。歌唱の活動においては、長唄を体験することのできる教材が掲載されている。また、音楽的側面からだけでなく、文化的側面からも捉えられるよう配慮されている。
構成	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性に配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。 ●教材の配列は適切であるか。 ●教材の分量は適切であるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標の上に立った内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌を「心の歌」と題して小学校、中学校から一貫して取り上げており、日本の歌に対する配慮がなされている。 ●各教材に示された学習内容や活動のポイント、歌唱・器楽、資料の「ジャンル別MAP」などにより、各学校や生徒の実態に応じて学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られており、複数の領域や分野を通じた題材設定がしやすいよう配慮されている。 ●学習指導要領の内容に即した教材が適切に配列されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られているとともに、ページ間に張られたリンクによって、理解を深めたり関連付けたりすることができるよう随所に工夫がなされている。 ●豊富な分量の教材が扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
人権	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解、情報、環境、人権教育などに配慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全体を通して、人権教育に対する適切な配慮がなされている。また、諸外国の文化に対する理解を深めることについても配慮がなされている。 ●音楽に関する知的財産権について「ルールを守って音楽を楽しもう！」が掲載されており、生徒に分かりやすく説明されている。
体裁	<ul style="list-style-type: none"> ●全体の体裁は教科書として適切であるか。 ●印刷、製本などは適切であるか。 ●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●A4判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●表紙や扉からも音楽に対するメッセージが感じられる体裁となっている。 ●全ページにわたって美しいカラー刷りとなっており、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明に印刷されている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に十分な配慮がなされている。 ●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 ●ユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。
総合所見	<p>学習指導要領の内容に即した教材が適切に配列されている。確実に学習を進められるよう、各教材には学習内容や活動のポイントが示され、生徒の主体的な学習活動を促すとともに、指導者が歌唱・器楽、資料の「ジャンル別MAP」を使って、各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮されている。二次元コードコンテンツを利用して、各楽器の奏法や外国の歌曲の原語歌詞の発音などを視聴することができるため、自宅での予習や復習を効果的に行うことができる。</p>	

別売 鑑賞参考教材ソフトについて

教科書に掲載されている「世界の諸民族の音楽」の授業展開を強力にサポートする鑑賞参考教材ソフトが、Blu-rayで登場！
迫力ある演奏のみならず、各国の風景や美しい民族衣装などの文化にも触れることができます。DVDをはるかに超える高解像度と、最新技術のマスタリングによる臨場感あふれるサウンドで楽しめます。



世界の民族音楽

- Blu-ray 1枚 / 収録時間 202分 ● 価格 19,800円 (本体 18,000円 + 税 10%)
- 49か国, 全 86曲を収録
- 全ての映像について, 各分野の研究者によるライナーノーツ付き

この他、音楽鑑賞DVDでは「日本の伝統芸能 編」と「民族編」を販売しています。どちらも鑑賞や音楽史の授業に最適です。



日本の伝統芸能 編

- DVD 1枚 / 収録時間 126分
- 価格 19,800円
(本体 18,000円 + 税 10%)
- 雅楽, 琵琶楽, 能楽, 文楽, 歌舞伎の成り立ちと魅力を紹介
- 鑑賞演目は副音声解説付き



民族編

- DVD 1枚 / 収録時間 146分
- 価格 19,800円
(本体 18,000円 + 税 10%)
- 38か国, 全 59曲を収録
- 民族音楽研究家, 江波戸昭先生の解説付き

第1表

高等学校用教科書需要票

見 本

発行者	番号	27	略称	教芸	需要数	生徒用	150	冊
	記号	音Ⅱ	番号	703		教員用	2	冊
教科書	書名	MOUSA 2						
	計	152 冊						

所在地
学校名
電 話

(全日制・定時制・通信制)

K教育芸術社

- 本 社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-14 TEL.03-3957-1175(代)
- 中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル8F TEL.052-678-3151(代)
- 関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-14-17-601 TEL.06-6943-7245(代)
- 西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町2-7-14 TEL.083-256-4747(代)

ホームページ <https://www.kyogei.co.jp/>